



霧が丘

令和8年4月7日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 根岸 淳

「すすんで挑み自分をみがく」
～ 自ら「気づき、考え、行動する」～



校長 根岸 淳

霧が丘学園、令和8年度が始まりました。今年度から、小学部1年生の入学式を午前中に、中学部進級式を午後で開催することとしました。入学式については、1年生の生活習慣を考えると、午前中の方が活動しやすいのではないかと考えました。進級式については、7年生の「節目」の時を大切にしようという思いから、中学部教職員も全員で迎えられる時間設定としました。

1年生、7年生をはじめとして霧が丘学園の皆が、入学、進級という大きな節目の時を迎えました。本学園では昨年度から、義務教育学校として「9年間、継ぎ目はないが節目を大切にする教育」の実践推進に取り組んでいます。「節目」は、さらなる成長へのチャンス(機会)となります。このチャンス(機会)を捉え、チャレンジ(挑戦)し、チェンジ(成長)へとつなげてほしいと願っています。

その基盤となるのが、本学園のスローガン「すすんで挑み自分をみがく」です。このスローガンが、皆さんの支えになることを信じています。そしてこのスローガンにセットとなっていた、～「何する、どうする」から「気づく、考える、行動する」～をよりわかりやすく、身近なものになるようにと、昨年度に児童生徒の皆さんの声も聞き(アンケート)、今年度から～自ら「気づき、考え、行動する」～としました。刷新したスローガン「すすんで挑み自分をみがく」～自ら「気づき、考え、行動する」～が一体として、皆さんの確かな基盤になることを期待しています。

昨年度創設した独自教科「コミュニケーション・表現」科は、霧が丘学園の特徴ある活動の「きりたま」「あすなる」を中核として、「様々な人と関わる中で自他のよさを認め合い、自らの力を発揮しながらより良いものをつくりあげる」という目標の実現に向けて、霧が丘の特色となるよう取り組んでいきます。

また小中バリアフリー化の渡り廊下工事も、周辺工事はまだ少しかかるようですが、渡り廊下本体は完成し、近々に「開通式」を行う予定です。4月13日からは、その渡り廊下を通り「自校調理給食」が、中学校にも提供されるべく準備を進めています。「はじめての給食」はワクワク、ドキドキであり、「食べることは生きること」として、9年間の食育の充実を図ってまいります。地域・保護者の皆様のご協力により「自校給食」が実現されることを心から感謝いたします。



これからも霧が丘学園は、霧が丘の「まちの学校」として、皆さまと共に歩んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

■横浜市教育委員会 北部学校教育事務所 所長賞 受賞のお知らせ■

令和7年度に、長年にわたり、ボランティアとして本校の学校教育活動の支援していただいている「遊楽舎」(代表 横瀬 堅様)が横浜市教育委員会 北部学校教育事務所 所長賞を受賞されました。

<霧が丘学園ホームページ>URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード